

形状問わず膜厚均一に

中外炉、ウエハー塗布装置

中外炉工業は、ウエハーやガラス、樹脂など各種基板への塗工液の塗布装置を開発した。円形や台形など基板形状ごとに塗工する幅が違っても、塗工液を均一な膜厚で塗布できる独自の幅替え機構を採用した。第5世代通信（5G）や人工知能（AI）の本格普及で今後の需要を見込む半導体パッケージング向けなどに提案する。新装置で2022年3月期に10億円以上の受注を目指す。



中外炉工業はウエハー塗布装置「RS-COAT」を8月上旬に発売する。ウエハー上には絶縁や耐熱などの役割があるポリイミドの均一な塗布は難しい。といった塗工液を塗布する速度で塗布できる「RS-COAT」

従来の塗布速度に比べて2倍の速度で塗布できる「RS-COAT」

独自の幅替え機構により、塗工液をウエハー基板の形状に左右されず塗布できるようにした。塗工幅が違ってもロスなく均一に塗布可能となる。価格は仕様により異なるが本体とウエハー搬送、乾燥の各装置込みで1億～2億円（消費税抜き）程度。台湾

な塗布が可能となる。価格は仕様により異なるが本体とウエハー搬送、乾燥の各装置込みで1億～2億円（消費税抜き）程度。台湾

や中国の半導体関連に提案するほか、国内で受託試験も請け負う。従来の塗布方式は、基板の端や裏面に付着した塗工液の除去が必要だった。RS-COATは基板表面にのみ塗工液が付着し、周囲に飛散しない。直径300ミリのウエハーへの塗布時間は1枚当たり30秒と、従来の2倍の速度で塗布できる。

米中貿易摩擦に新型ウエハー塗布装置の需要を取り込む。（電子版に動画）

中外炉は微小電気機械システム（MEMS）、パワー半導体などを含めて半導体製造関連の需要を取り込む。（電子版に動画）

コロナウイルス感染症とマイナスの外部要因が続くが、半導体メモリーメーカーや半導体受託製造（ファウンドリー）会社は5G、AI導入加速を追い風に設備増強を急いでいる。